

消防署の紹介

天草広域連合広報

架け橋



中央消防署 大矢野分署
(上天草市大矢野町中11582-25)
昭和48年12月28日 開署
鉄筋コンクリート造 2階建



中央消防署 苓北分署
(天草郡苓北町志岐1231)
昭和56年2月28日 開署
鉄筋コンクリート造 平屋建



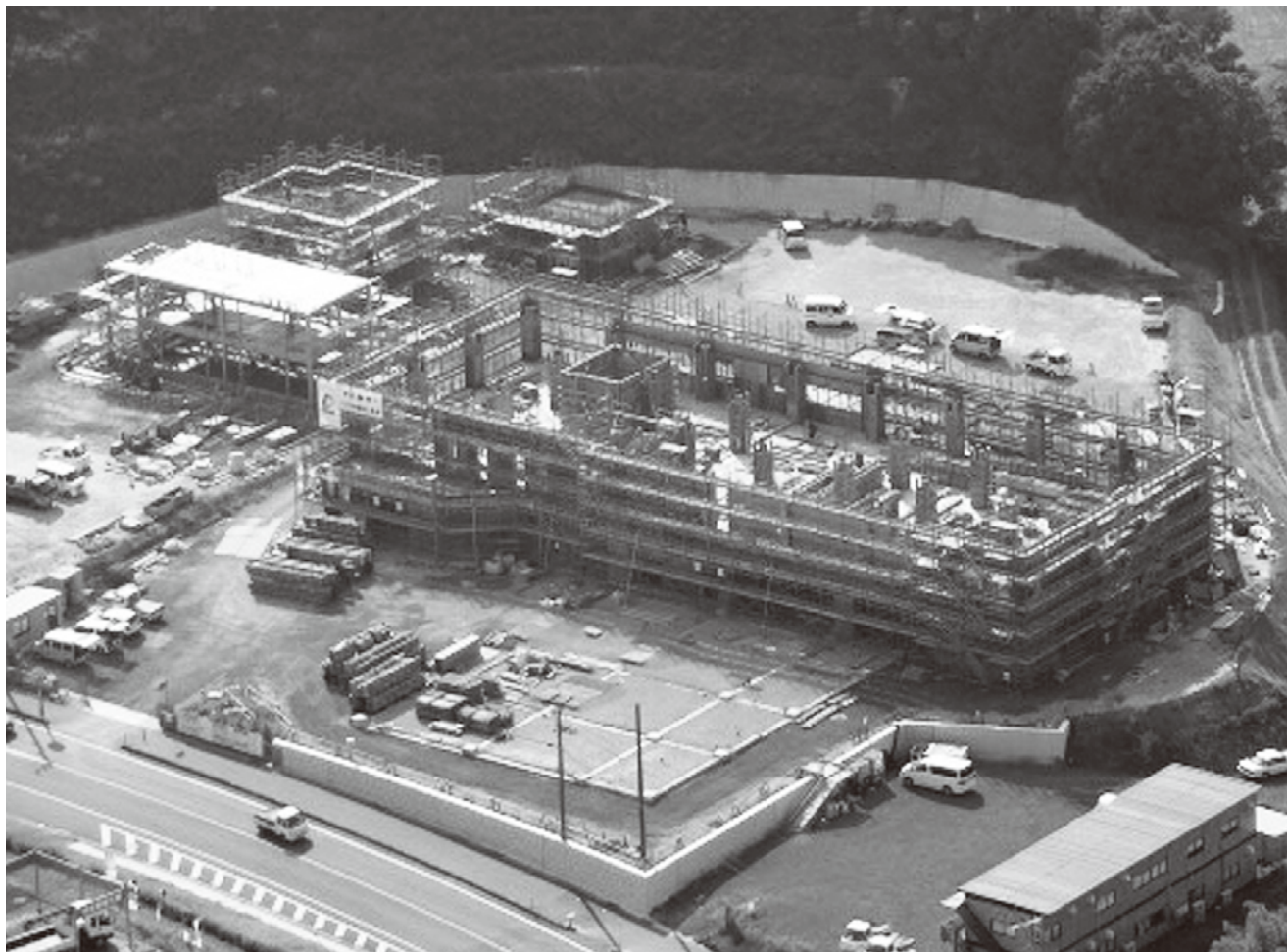
中央消防署 河浦分署
(天草市河浦町白木河内175-13)
昭和48年11月20日 開署
鉄筋コンクリート造 平屋建

主な内容

- 消防本部・中央消防署庁舎建設中…………… 2
- ごみ処理施設の排ガス・水質分析検査結果を公表…………… 3
- 議会報告・職員数や給与などを公表…………… 4～5
- お知らせ…………… 6

2013.10

第24号



消防本部・中央消防署庁舎建設中

消防本部・中央消防署庁舎建設は、8月現在、庁舎棟2階部分の工事を行っています。敷地奥の3棟の訓練施設も同時に建設中で、完成予定は平成26年3月です。

新しい庁舎の機能(役割)

災害発生時における消火・救急・救助活動の体制確保、及び予防行政の充実、強化を図り、総合的防災体制の中核として次に掲げる消防施設の機能を持つ庁舎を目指します。

1. 住民の安全・安心な暮らしを支える拠点となる庁舎

庁舎の耐震機能・防火機能の確保はもとより、指令の中核機能をもつ新しい情報処理システムを導入し、迅速な災害時出動による住民の安全・安心の暮らしを支える拠点となる庁舎とします。

2. 消防力の向上に対応した庁舎

対処できる訓練施設を設け、消防職員及び消防団員の消防力の向上に対応した庁舎とします。

3. 地域防災の向上に対応できる庁舎

住民の防災意識の啓発と自主防災組織の育成に活用できる屋外スペースや防災講習会等の会議スペースを確保することで、地域防災の向上に対応できる庁舎とします。

4. 住民に親しまれる庁舎

ユニバーサルデザインに配慮し、防災展示スペース、相談ブースを設置するなど、見学者の積極的な受け入れによる住民に親しまれる庁舎とします。

平成24年度ごみ処理施設の排ガス・水質分析検査結果を公表

天草広域連合では、天草市（牛深・御所浦・天草及び河浦を除く）、上天草市及び苓北町のごみ処理を行っています。市町で収集・運搬されたごみは、本渡地区清掃センター（天草市楠浦町）、松島地区清掃センター（上天草市松島町）で処理し、その最終処理物は、新白洲一般廃棄物最終処分場（天草市栖本町）に埋め立てています。

それぞれの施設では、環境に影響を与えると考えられる物質の検査を定期的に行い、国が定めた基準内にあるか確認しながら処理することで周辺環境の保全に努めています。

平成24年度の分析検査結果は、次の表のとおり全項目が基準内でした。

今後も適正な施設の管理運営に努めてまいります。

本渡・松島地区清掃センターの排ガスの分析結果

測定月	検査項目	本渡地区清掃センター				松島地区清掃センター			単 位
		排出基準	1号炉	2号炉	3号炉	排出基準	1号炉	2号炉	
H24.8	ばいじん	0.25以下	0.02	0.02	0.02	0.15以下	0.01	0.02	g/Nm ³
	塩化水素	700以下	12	12	12	700以下	135	10	mg/Nm ³
H25.1	窒素酸化物	250以下	69	74	127	250以下	90	78	ppm
	硫黄酸化物	162以下	0.02	0.03	0.02	75以下	0.52	0.06	Nm ³ /H
H24.8	ダイオキシン類	5以下	0.14	0.022	0.38	5以下	0.062	0.026	ng-TEQ/Nm ³

※排出基準は、施設規模で異なります。

新白洲一般廃棄物最終処分場の水質分析検査結果

1. 放流水の分析検査結果（H24.4～H25.3 毎月測定）

検 査 項 目	排出基準	分 析 値 (年間平均)	単 位
PH(水素イオン濃度指数)	5.8～8.6	7.0	—
BOD(生物化学的酸素要求量)	60以下	1.0	mg/ℓ
COD(化学的酸素要求量)	90以下	1.9	〃
SS(浮遊物質)	60以下	1.6	〃
大腸菌群数	3000個以下	2.5	個/cm ³

2. ダイオキシン類の測定結果（H24.8）

採 取 種 別	排出基準	分 析 値	単 位
地下水	1以下	0.037	pg-TEQ/ℓ
原 水	—	0.00017	〃
放流水	10以下	0.042	〃

用語の説明

ば い じ ん	ダストと呼ばれる小さなチリ。燃料等の焼却に伴い発生する、いわゆる「すす」。
塩 化 水 素	プラスチック・塩化ビニル系の燃焼によって発生する刺激臭のある気体。自然界では火山活動などで発生する。
窒素酸化物	窒素の酸化物で、工場等からのばい煙や自動車排出ガスにも含まれる。
硫黄酸化物	石油や石炭など硫黄分が含まれる化石燃料を燃焼させるときに発生する。自然界においても火山ガスなどに含まれる。
ダイオキシン類	塩素を含む物質の不完全燃焼などで生成される物質（毒性については強弱あり）。山火事や火山活動など自然現象によっても発生する。水に溶けにくい性質を持つ。
P H	物質の酸性、アルカリ性の度合いを示す数値。PH=7 の場合は中性、値が小さいほど酸性が強く、逆に値が大きいほどアルカリ性が強い。
B O D	水中の有機物などを酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量を表したもので、値が大きいほど、その水質は悪いといえる。
C O D	水中の被酸化性物質を酸化するために必要とする酸素量を表したものの。
S S	水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶解性物質の量。
大腸菌群数	大腸菌をはじめとする細菌の数。水の汚染レベルの指標として早い時期から使用されている。

※ ppm：100万分の1の単位。 ng：10億分の1グラムの単位。 pg：1兆分の1グラムの単位。

天草広域連合議会

天草広域連合議会が開催され、次の議案について審議が行われ、原案のとおり可決されました。

平成25年第2回臨時会（5月29日）

- 天草広域連合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 財産の取得について
- 平成25年度天草広域連合一般会計補正予算（第1号）

平成25年第3回臨時会（6月28日）

- 天草広域連合職員の給与の特例に関する条例の制定について
- 平成25年度天草広域連合一般会計補正予算（第2号）

平成25年第4回定例会（8月26日）

- 平成25年度天草広域連合一般会計補正予算（第3号）

情報公開条例と個人情報保護条例の運用状況

平成24年度の運用状況は、次のとおりです。

条 例 名	情 報 公 開 条 例			個 人 情 報 保 護 条 例		
実 施 機 関 名	行 政 文 書 の 情 報 公 開 状 況			個 人 情 報 の 開 示 請 求 状 況		
	請求者数(人)	請求件数(件)	公開件数(件)	請求者数(人)	請求件数(件)	公開件数(件)
広 域 連 合 長	45	45	45	0	0	0
選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0
監 査 委 員	0	0	0	0	0	0
議 会	0	0	0	0	0	0
合 計	45	45	45	0	0	0
不服申し立て件数	0件			0件		

※「請求件数」とは、公開請求及び開示請求の対象となる書類別の件数です。

広域連合の職員数や給与などを公表

「天草広域連合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」により、職員の人数や給与などの概要を次のとおり公表します。

1. 職員の任免及び職員数

①職員の任免の状況

区 分	平成24年4月1日 現在の職員数	24年4月2日～25年3月31日		平成25年4月1日 現在の職員数
		退 職	採 用	
人 数	234人(11人)	13	0	230人(9人)

※()内は、職員数のうちその年の4月1日に新規採用された職員の数です。
※関係市町からの派遣職員は含みません。
※再任用職員を含みます。

②部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

区 分		一 般 行 政 職				計
		議会・総務	民 生	衛 生	消 防	
職 員 数	平 成 24 年	6人	1人	12人	215人	234人
	平 成 25 年	6人	1人	12人	211人	230人
	対前年増減数	0人	0人	0人	△ 4人	△4人

2. 職員の給与

①人件費の状況（一般会計決算見込額）

区 分	歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	(参考)前年度の人件費率
平成24年度	3,555,912千円	1,882,565千円	52.9%	51.8%

②職員給与費の状況（一般会計決算見込額）

区 分	職員数 (A)	給 与 費				1人当たり給与費 (B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
平成24年度	234人	845,155千円	221,075千円	305,233千円	1,371,463千円	5,861千円

③職員の平均年齢、平均給料月額状況（平成25年4月1日現在）

区 分	職員数	平均年齢	平均給料月額
一 般 行政職	一般行政部門	19人	53.8歳
	消 防 部 門	208人	40.3歳
	再 任 用	3人	60.5歳
全 職 員	230人	41.0歳	297,662円

④職員の初任給状況

（平成25年4月1日現在）

区 分	初 任 給
大 学 卒	172,200円
高 校 卒	140,100円

⑤特別職の報酬等の状況

（平成25年4月1日現在）

区 分	広域連合長	副広域連合長	議 長	副 議 長	議 員	識見監査委員
年 額	95,000円	61,000円	61,000円	55,000円	51,000円	日額 7,000円

⑥職員手当の状況

（平成25年4月1日現在）

区 分	内 容	区 分	内 容			
扶養手当	○配偶者……………13,000円 ○その他の扶養親族……………1人6,500円 （16歳～22歳の子は1人5,000円を加算）	時 間 外 勤務手当	勤務時間外に勤務した場合に支給			
		夜 間 勤務手当	正規の勤務時間として、午後10時から翌日の 午前5時までの間に勤務した場合に支給			
住居手当	○借家の場合……………家賃の額に応じて 27,000円を限度に支給 ○持ち家の場合……………2,500円（5年間） ※持ち家に係る手当は、平成25年6月から廃止	休 日 勤務手当	休日等において勤務する場合に支給			
		特 殊 勤務手当	○ごみ処理特殊作業に従事した職員に支給 ……………日額200円 ○消防の火災・救助・救急業務等に出動従 事した職員に1回330円～1,000円を支給			
通勤手当	○交通機関を利用する場合……………運賃額を支 給（上限50,000円） ○自動車などを利用する場合……………距離に応 じて2,000円～44,900円を支給			期 末	勤 勉	合 計
単身赴任 手 当	単身で赴任する職員に、距離に応じて 23,000円～68,000円を支給	期 末 ・ 勤勉手当	6 月 期	1.225月分	0.675月分	1.90月分
			12 月 期	1.375月分	0.675月分	2.05月分
管 理 職 手 当	管理または監督の地位にある職員に支給 事務局長及び消防長……………43,000円 次長及び消防次長……………38,000円 課長及び署長……………33,000円	合 計	合 計	2.60月分	1.35月分	3.95月分
				自己都合		勸奨・定年
地域手当	物価や生計費が特に高い地域に勤務する 職員に支給	退職手当	勤続20年	23.03月分		28.7875月分
			勤続25年	32.83月分		38.955月分
			勤続35年	46.55月分		55.86月分
			最高限度	55.86月分		55.86月分

※特例期間（平成25年7月～平成26年3月）中の職員給与の減額内容

・給料月額…職務の級に応じて2～4% ・管理職手当…月額10% ・期末勤勉手当…支給額2%

3. 職員の勤務時間その他勤務条件

①勤務時間・休憩時間・週休日の状況

1日の勤務時間	休憩時間	週 休 日
8:30 ～ 17:15 7時間45分	12:00 ～ 13:00	土曜日及び 日曜日

※交代制勤務の職場などは、別に定めています。

②休暇制度の概要

休暇の種類	要件、日数など	
年次有給休暇	最大で年に20日付与	
病 気 休 暇	必要と認められる期間	
特 別 休 暇 (主なもの)	結 婚 休 暇	5日以内
	産前休暇	8週間以内
	産後休暇	8週間以内
	妻の出産休暇	2日以内
	育児時間休暇	1日2回・各30分
	子の看護休暇	5日以内
	親族の死亡休暇	1～7日
	夏季休暇	3日
介 護 休 暇	最大6ヵ月（無給）	

4. 職員の服務の状況

①服務の根本基準

※職員には、全体の奉仕者として守らなければならない
義務が、次のとおり定められています。

①法令等及び上司の職務上の命令に従う義務
②信用失墜行為の禁止
③秘密を守る義務
④職務に専念する義務
⑤政治的行為の制限
⑥争議行為等の禁止
⑦営利企業等の従事制限

5. 職員の分限及び懲戒処分の状況（平成24年度）

①分限処分 2件

②懲戒処分 0件

※分限処分とは、職員が心身の故障などにより、職責を十分に果たせない場合に行う処分をいいます。

※懲戒処分とは、職員が法令違反や公務員としてふさわしくない非行などがあつた場合に行う処分をいいます。

消防本部
から

ガソリンの取扱いに注意!!

平成25年8月15日、京都府福知山市の花火大会会場でガソリンに起因する火災があり、多数の死傷者が発生しました。

お知らせ

〔ガソリンの特性〕

- ガソリンは常温ではもちろん、マイナス40℃という低い温度でも、ちょっとした火花で引火し、爆発的に燃焼します。
また、気化すると拡散しやすく、離れたところでも引火するおそれがあります。

〔貯蔵取り扱いの注意事項〕

- ガソリンを使用する周辺では、火気や火花を発生する器具等を使わないようにしましょう。
- エンジン稼働中の給油は、絶対に行わないようにしましょう。
- 容器の蓋を開ける前に圧力調整弁を操作し、

中の圧力を下げるようにしましょう。

- ガソリンは灯油用ポリ容器やペットボトルに入れることはできませんので、性能試験確認を受けた金属製容器を使用しましょう。



ガソリン貯蔵に適さない容器



ガソリン貯蔵に適した容器

＜お問い合わせ先＞

天草広域連合消防本部予防課
電話 0969(22)3305

清掃 センター から

毎年12月20日以降の清掃センターへのごみの持ち込みは、計量が済むまでに2時間以上かかるなど大変混雑します。年末の大掃除は早めに済ませて20日より前に持ち込むか、地域のごみステーションをご利用ください。

搬入時の混雑状況



ごみの持ち込みについて

また、**不燃物の持ち込みは毎月29～31日は受け付けておりませんので、ご注意ください。**

【清掃センターへごみを持ち込むときの注意点】

- 「燃えるごみ」「燃やせないごみ」「資源物」にきちんと分別して、持ち込んでください(「資源物」は無料ですので、搬入時に申し出てください)。
- 袋に入れる場合は、中身の見える袋に入れてください。
- トラックで持ち込まれる場合は、飛散防止のためシート等で荷台を覆ってください。
- 他の車両に十分注意し、施設内では徐行運転をお願いします。

ごみの分別について

ごみの分別がきちんとされていないと、ごみ処理設備や機器の故障、爆発、火災が発生することがあり、大変危険です。

各市町のルールを守り、きちんと分別してごみや資源物を出されるようお願いします。



レジ袋などに入ったままではなく、袋から中身を出して分別して出してください。



天草広域連合

〒863-0003
熊本県天草市本渡町本渡2547番地2
TEL(0969)24-3188
FAX(0969)24-2726

＜お問い合わせ先＞

天草広域連合環境衛生課
電話 0969(27)0888